



2026年3月期 通期 業績説明資料

(2025年4月1日～2026年3月31日)

2026年5月14日
エイバックス株式会社
東証プライム:7860

1

連結業績

Financial Highlights

TVアニメ『ガチアクト』

©裏那圭・晏童秀吉・講談社/「ガチアクト」製作委員会



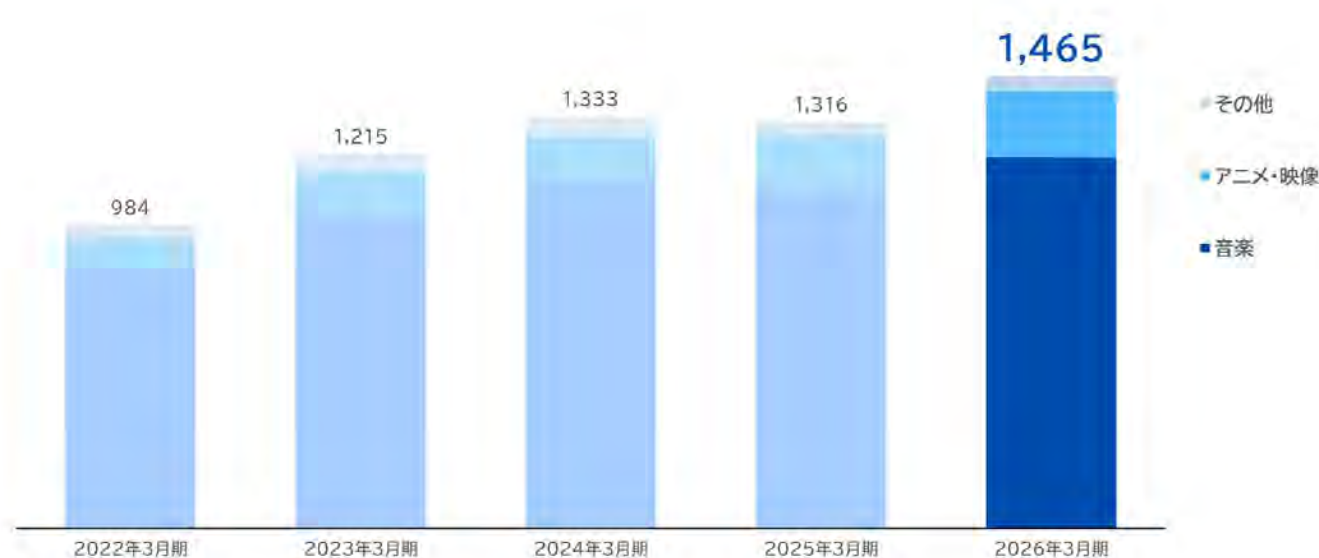
音楽事業におけるライブ関連売上高の増加やアニメ・映像事業におけるアニメ作品の海外向け販売の好調、
 販管費の減少により営業利益は黒字転換し、大幅に伸長。期首予想を上回る形で着地

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	増減率	ご参考: 2026年3月期 期首業績予想 (2025年5月8日開示)	業績概要
売上高	131,691	146,571	+14,879	+11.3%	—	✓ 売上高は音楽事業におけるライブ関連 売上高の増加やアニメ・映像事業における アニメ作品の海外向け販売好調等により 増収
営業利益	△1,819	4,085	+5,904	—	3,000	✓ 貸倒引当金繰入額の計上減や費用執行 の見直しにより販管費が減少し、 営業利益は黒字転換し、大幅に伸長
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,138	3,553	+2,414	+212.1%	1,200	✓ 2025年12月に持分法適用関連会社 である「SANRIO SOUTHEAST ASIA PTE. LTD.」の株式を譲渡した ことにより特別利益を計上

音楽事業、アニメ・映像事業ともに増収。コロナ禍以降、過去最高となる売上高

連結売上高推移

(億円)



注: グラフ内の各売上高は内部売上高を各セグメントに按分し消去した参考値

ライブ関連の売上高増・売上総利益率改善やアニメ作品の海外販売の拡大による売上総利益の増加、費用執行の見直し等による一般経費の減少により、営業利益は黒字転換し大幅に伸長。

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	増減率
売上高	131,691	146,571	+14,879	+11.3%
売上原価	95,852	104,791	+8,938	
売上総利益	35,839	41,779	+5,940	+16.6%
売上総利益率	27.2%	28.5%	+1.3pt	
人件費	12,659	12,868	+208	
販促宣伝費	7,913	8,654	+740	
一般経費	17,085	16,171	△913	
販管費合計	37,658	37,694	+36	
営業利益	△1,819	4,085	+5,904	—
営業利益率	—	2.8%	—	

音楽事業において、ライブ関連売上高の増加等により黒字転換
アニメ・映像事業においては、アニメ作品の海外向け販売の好調により増収増益

セグメント売上高

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	増減率
音楽事業	114,574	122,312	+7,737	+6.8%
アニメ・映像事業	18,492	21,723	+3,230	+17.5%
その他事業	4,109	4,726	+616	+15.0%
消去+全社	△5,485	△2,190	+3,295	—
合計	131,691	146,571	+14,879	+11.3%

セグメント営業利益

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	増減率
音楽事業	△1,180	3,468	+4,648	—
アニメ・映像事業	299	1,062	+762	+254.8%
その他事業	△939	△439	+499	—
消去+全社	0	△5	△5	—
合計	△1,819	4,085	+5,904	—

ライブ関連売上高の増加、音楽配信の好調等により増収

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	増減率		2025年3月期	2026年3月期	前年同期比		
音楽事業 売上高	114,574	122,312	+7,737	+6.8%	ライブ概況	公演数合計(公演)	1,132	1,138	+6	
ライブ	45,571	53,482	+7,910	+17.4%		スタジアム	32	25	△7	
マーチャндаイジング	7,465	8,238	+772	+10.4%		アリーナ	174	187	+13	
マネジメント	11,292	12,102	+810	+7.2%		ホール/ライブハウス	926	926	±0	
音楽パッケージ	21,445	19,741	△1,704	△7.9%		動員数(万人)	318	318	±0	
音楽配信	13,909	15,644	+1,735	+12.5%		チケット平均単価(円)	12,782	13,104	+323	
音楽出版	3,214	3,262	+48	+1.5%	音楽パッケージ概況	アルバム	単価(円)	2,950	2,638	△312
E-コマース	16,535	17,834	+1,298	+7.9%			枚数(千枚)	5,486	3,922	△1,564
その他	8,172	8,792	+620	+7.6%		シングル	単価(円)	1,161	1,196	+35
営業利益	△1,180	3,468	+4,648	—			枚数(千枚)	4,669	3,750	△919
営業利益率	—	2.8%	—	—	DVD/Blu-ray	単価(円)	6,164	5,763	△401	
						枚数(千枚)	904	1,534	+630	

注4: ライブ概況の公演数・動員数・単価は当社受託制作公演を含み、オンラインライブ・舞台・イベント等は除く
 注5: 音楽パッケージ概況の単価及び枚数は新譜のみ(販売受託分を含む)

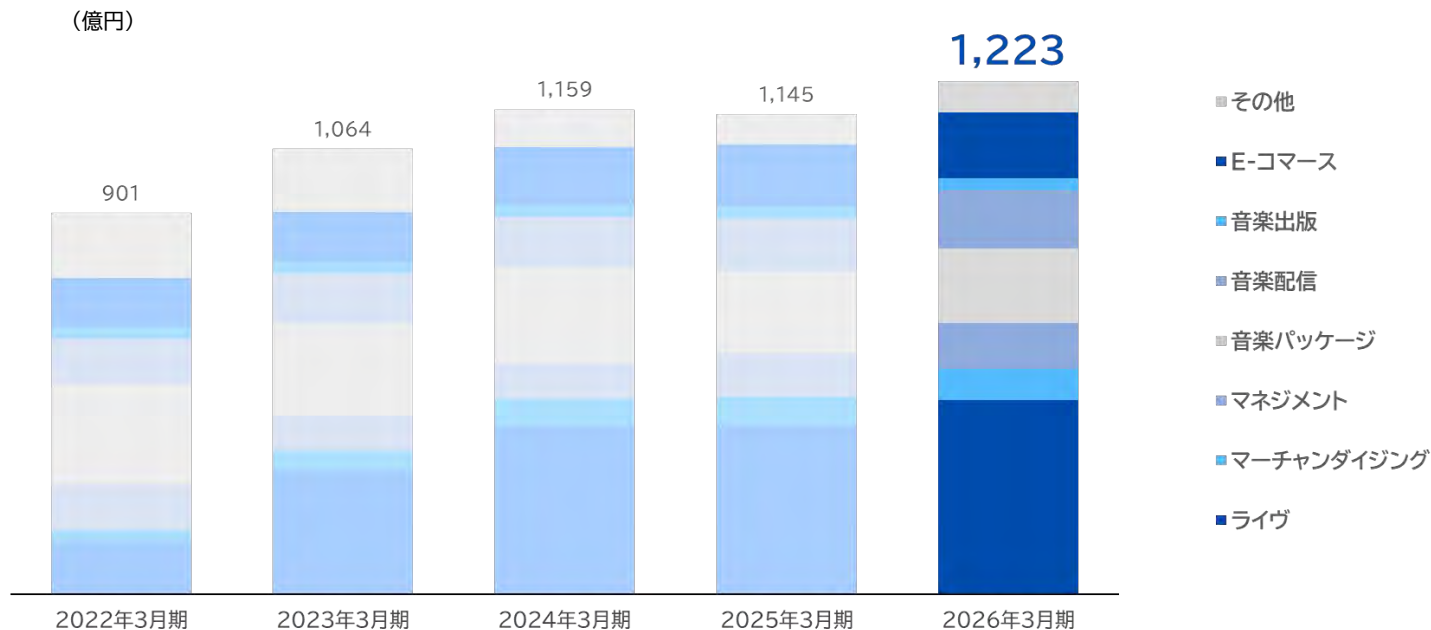
注1: 2026年3月期より売上高のサブセグメントを変更しており、従来の「ファンクラブ」サブセグメントは「マネジメント」サブセグメントに含めて適及開示している

注2: 各サブセグメント売上高はサブセグメント内取引を未消去

注3: 2026年3月期よりGMF(グループ運営負担金)の配賦方法及び金額を見直している

ライブ関連売上高の増加、音楽配信の好調等により増収

音楽事業 売上高推移



注1: 2026年3月期より売上高のサブセグメントを変更しており、従来の「ファンクラブ」サブセグメントは「マネジメント」サブセグメントに含めて遡及開示している

注2: 「その他」サブセグメントには、旧デジタル事業にて計上していた映像配信収入及びエイベックス通信放送株式会社の運営業務の受託収入(2023年6月末で終了)を含めている

アニメ作品の海外向け販売が好調に推移したことにより、増収増益

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	増減率
アニメ・映像事業 売上高	18,492	21,723	+3,230	+17.5%
アニメ	13,508	17,138	+3,630	+26.9%
実写映像	4,724	4,377	△347	△7.3%
その他	260	208	△52	△20.0%
営業利益	299	1,062	+762	+254.8%
営業利益率	1.6%	4.9%	+3.3pt	—

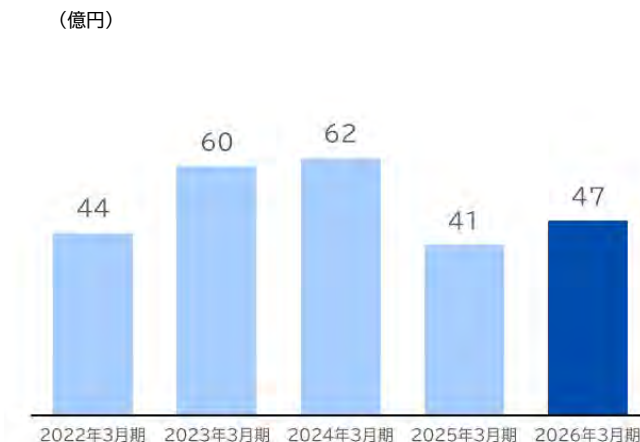
アニメ・映像事業 売上高推移



注1: 2026年3月期より売上高のサブセグメントを変更している
 注2: 各サブセグメント売上高はサブセグメント内取引を未消去
 注3: 2026年3月期よりGMF(グループ運営負担金)の配賦方法及び金額を見直している

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	増減率
その他事業 売上高	4,109	4,726	+616	+15.0%
営業利益	△939	△439	+499	—
営業利益率	—	—	—	—

その他事業 売上高推移



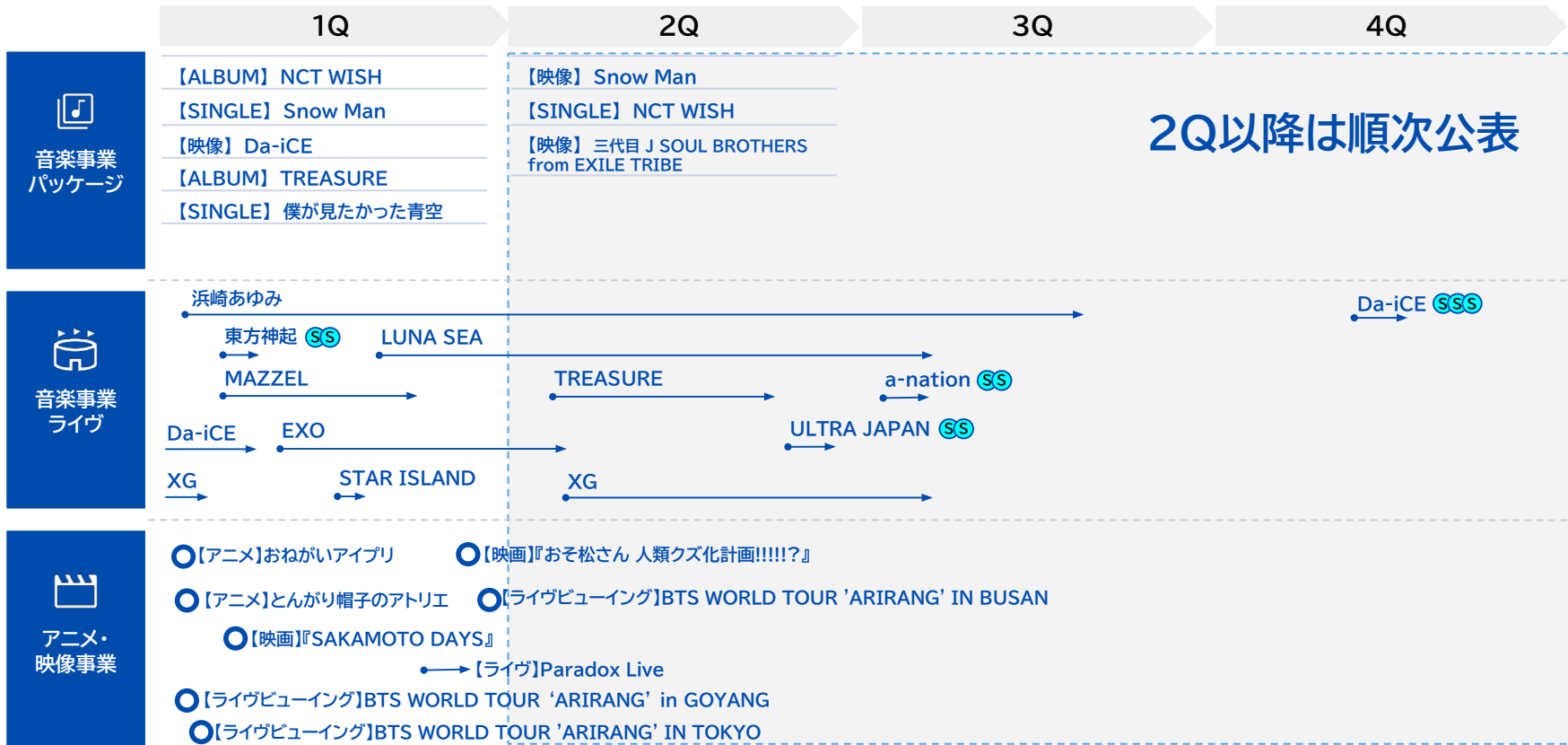
2027年3月期 通期連結業績予想 (2026年5月14日付公表数値)

2027年3月期の業績予想は営業利益60億円、当期純利益32億円と設定
配当性向35%、最低年間配当50円は維持

(百万円)	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (予想)	前年同期比	増減率
売上高 (参考値)	146,571	—	—	—
営業利益	4,085	6,000	+1,915	46.9%
親会社株主に 帰属する当期純利益	3,553	3,200	△353	△9.9%
年間配当金 (円)	50	50	±0	—

2027年3月期 主要リリース予定 ※公表済タイトルのみ

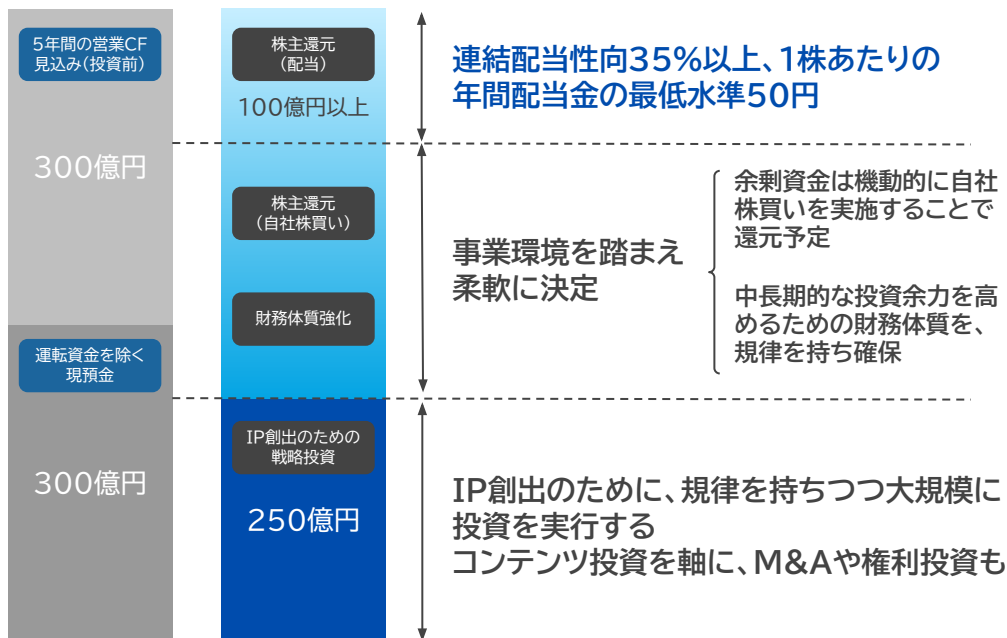
Ⓢ スタジアム公演



キャピタル・アロケーションの状況

配当方針に従い、最低配当金50円は継続
引き続きグローバルを見据えたIP創出への投資を積極的に実施するとともに、選択と集中を進める方針

中計公表時計画(目標数値見直し前)



これまでの状況

5年間の営業CFは当初想定と比較し減少

- ✓ 最低配当50円を継続
(23年3月期~26年3月期 総額約88億円)
- ✓ 総額43億円の自己株式取得を実施
(24年5月~24年12月取得完了)
- ✓ グローバルを見据えたIP創出のための投資を継続
XGやONE OR EIGHTなど複数組がデビューし、今後も新規アーティストのデビューを予定
- ✓ 総額1億ドル(約150億円。当社抛出上限75億円)のSPCを組成し、グローバル音楽カタログ取得を開始
- ✓ 桜新町「avex Youth studio TOKYO」を設立
- ✓ 米国マネジメント会社「S10」を子会社化

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

ROEは7%へ大幅に改善。株主資本コストを上回る収益性を実現するため、中長期での成長に向けた事業戦略とバランスシートマネジメント等を通じた資本コスト抑制の取り組みを推進

現状評価

PBR
(倍)



ROE・
株主資本
コスト(%)



対応方針

事業戦略

- ・グローバルを見据えたIPの創出、権利の戦略的獲得及び価値最大化
- ・収益性の改善に向けた全社的な構造改革の実行

資本・財務戦略

- ・バランスシートマネジメントによる資本効率性の向上
- ・株主還元等、資本収益性を高める施策の実行
- ・統合報告書等を通じた非財務情報を含む開示の充実
- ・ステークホルダーとの対話の推進

2

中長期的な成長に向けて

Towards Mid- to Long-term Growth

XG



エイベックスのビジネスモデル

才能を発掘・育成(IP創出)し、その価値を最大化(マネタイズ)するビジネス



注1: 「フロー型」とは、ライブ公演におけるチケット収入や、パッケージ商品の販売、グッズ販売といった収入を指す

注2: 「ストック型」とは、音楽・映像配信サービスからの月額収入、音楽関連著作権収入、ファンクラブ会員収入等、継続的に得られる収入を指す

グローバルを見据えたアーティストの成長(1/2)

2022年にデビューした「XG」(エックスジー)は、初のワールドツアー、1stフルアルバムの発売を経て大きく成長



XG 1st WORLD TOUR
"The first HOWL"
35都市**40**万人動員
東京ドーム公演で閉幕



1st Full Album
「THE CORE - 核」
「Billboard 200」*
TOP100ランクイン



ファンベースの拡大

Spotify月間リスナー数

約**591**万人
(2026年3月末)

海外割合
約**80%**

ファンクラブ「ALPHAZ」会員数

有料会員

無料会員

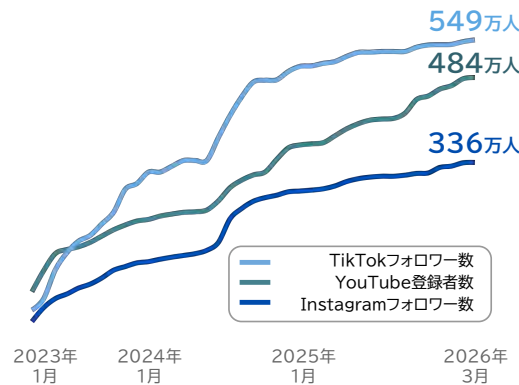
約**2**倍

約**6**倍

(24年3月→26年3月)

(24年3月→26年3月)

各SNS登録者数



注: 「Billboard 200」: 米ビルボード誌による米国における週間売上高上位200位のランキング(アルバム及びEP。配信含む)

グローバルを見据えたアーティストの成長(2/2)

2024年にデビューした「ONE OR EIGHT」(ワンオアエイト)についても、26年1月に発売した1stミニアルバム
リード曲「TOKYO DRIFT」が、海外を中心に大きく認知を獲得



Spotify月間リスナー数

175万人
(2026年2月末)

1st Mini Album リード曲
「TOKYO DRIFT」

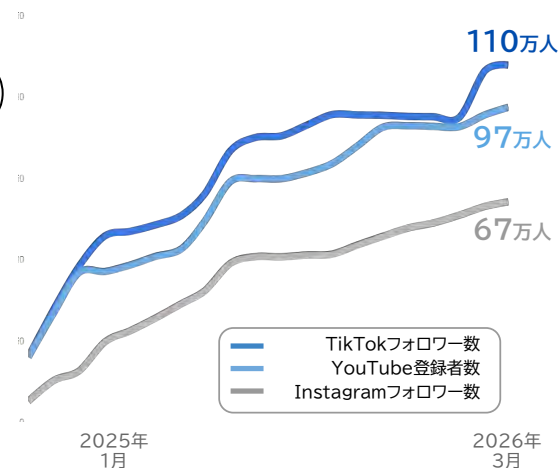
36の国と地域でチャートイン

TikTok再生回数 **2.8億**回突破

Billboard
Global Japan Songs **15**位

各SNS登録者数

2024年8月のデビュー以降、
右肩上がり成長




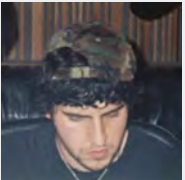


クリエイティブネットワークの活用による海外展開強化

米国拠点「Avex Music Group」の音楽出版ビジネスの成長により、世界水準のクリエイティブ体制を構築
新たにグループ入りした米国マネジメント会社「S10」のネットワークを活用し、IPの海外展開を加速

トップクリエイターとの契約締結

海外作家30名以上と専属音楽出版契約を締結

 <p>代表曲 Kehlani "Folded"</p> <p>グラミー賞 受賞</p> <p>Kamal Wilson</p>	 <p>代表曲 Tate McRae "Greedy"</p> <p>1位 Billboard Global 200</p> <p>Jasper Harris</p>
 <p>代表曲 Drake "Nokia"</p> <p>1位 Spotify USA Top 50</p> <p>Elkan</p>	 <p>代表曲 Tommy Richman "MILLION DOLLAR BABY"</p> <p>2位 Billboard Hot 100</p> <p>Kavi</p>

グループ内のシナジー創出

当社契約アーティストに、海外作家が楽曲を提供しヒット曲を創出

<p>BE:FIRST "BE:FIRST ALL DAY"</p> 	<p>ONE OR EIGHT "DSTM"</p> 	<p>STARGLOW "Star Wish"</p> 
---	---	--

上記楽曲の制作に携わった弊社所属作家

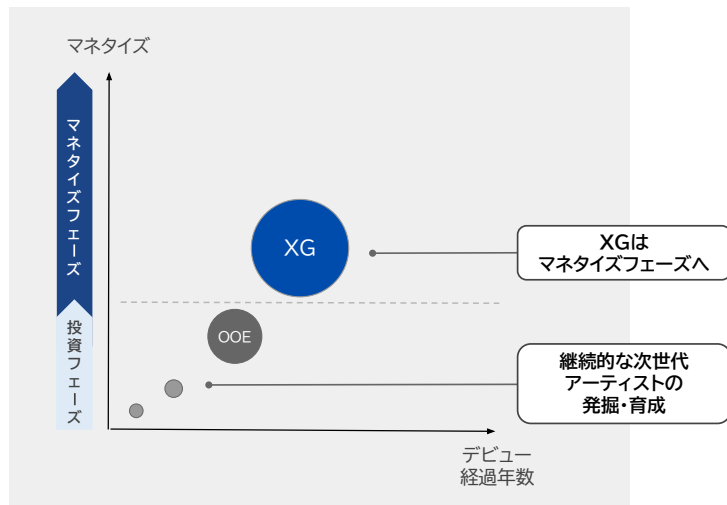
 <p>Grant Boutin</p>	 <p>David Arkwright</p>	 <p>Lucien Parker</p>	 <p>Will Jay</p>
---	--	--	---

IP創出ノウハウを活用した成長速度の加速

IP創出を通じて得られたノウハウを次世代へ活用することで、成長速度を加速し、先行投資期間の短縮を目指す

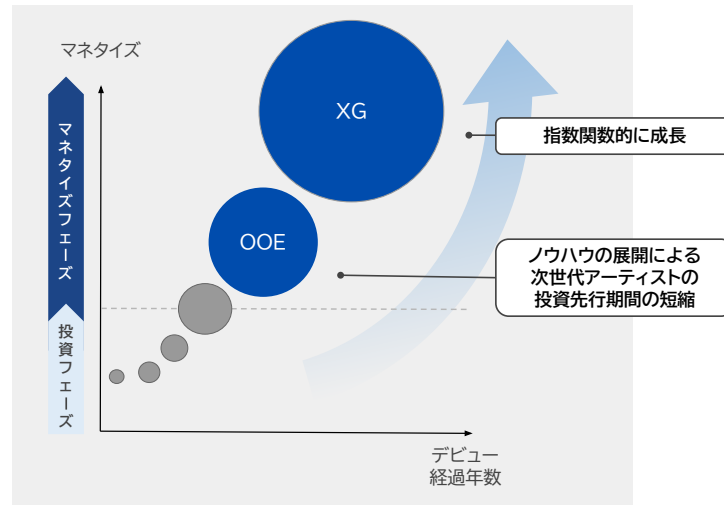
新規IPの位置付け(現在)

XGは投資フェーズからマネタイズフェーズへ移行。
ONE OR EIGHT(OOE)をはじめ、次世代アーティストの発掘・育成を継続



将来イメージ

蓄積したIP創出ノウハウを横展開し、次世代アーティストの成長を加速



BTSやTOMORROW X TOGETHERのメンバーを発掘したキム・ミジョンが率いる「Rii.MJプロジェクト」の第1弾アーティスト。
全員10代の日本人5人組ボーイズグループVIBYが6月にデビュー



エグゼクティブ・プロデューサー
KIM MI JEONG



公式HP
<https://viby-official.com/>



公式YouTube
<https://www.youtube.com/@Official.VIBY>



VIBY誕生の軌跡に迫るドキュメンタリー『VIBY 1329 The night before debut』がABEMAで放送



公式ファンクラブ「TOMO」開設



8月に日本武道館にて
DEBUT SHOWCASEを開催予定

プレデビュー曲SNS総再生回数

公開からわずか7日間で

2,500万回突破



当社所属アーティストの成長(1/2)

2025年4月に当社へ完全移籍したアイナ・ジ・エンドは、アニメのオープニングテーマ曲に起用された「革命道中 - On The Way」がグローバルヒットとなり、今年4月より海外ツアーが開幕



1st Single 「革命道中 - On The Way」 「Billboard Global 200」* ランクイン

- ・Billboard Japan Hot Animation 5週連続1位
- ・Billboard Japan Hot 100 44週連続チャートイン継続中
- ・Billboard Japan Streaming Songs 最高位 3位
- ・音楽ストリーミング総再生回数 3億回



Spotify月間リスナー数

約**513**万人
(日本人女性アーティスト3位)
(2025年10月 最高値)

「革命道中」
リリース後3カ月で
約**9**倍

初のアジア・ツアー

8都市**9**公演

注: 「Billboard Global 200」:
「Billboard HOT Animation」:
「Billboard Japan Hot 100」:
「Billboard Japan Streaming Songs」:

世界200以上の地域から抽出されたダウンロードとストリーミング・データを集計した週間楽曲ランキング
JAPAN Hot 100からアニメTV/映画のタイアップ楽曲と、アニメ声優による楽曲を抽出し、順位化した週間アニメソングチャート
Billboard JAPANによる複数の指標データを基に決定した日本の週間人気上位100曲の総合ソングチャート
主要サブスクリプションサービスの合計再生回数に基づいて、最も聞かれている週間楽曲ランキング

当社所属アーティストの成長(2/2)

Da-iCEは自身最大規模となるアリーナツアーを完走し、ドーム公演が決定
浜崎あゆみは昨年度を上回る規模でアジアツアーを開催し、台北では2万6千人を動員



昨年11月に**自身最大規模のアリーナツアーを完走**。
今年1月より新たにアリーナツアーが開幕し、**ドーム公演**が決定。

アリーナツアー公演数

『Da-iCE ARENA TOUR 2025 -EntranCE-』

4都市**8**公演

『Da-iCE ARENA TOUR 2026 -TERMiNaL-』

10都市**20**公演

ファンクラブ会員数

約**2**倍

(2024年3月→2026年3月)



昨年から規模を拡大し海外5都市を含む12都市15公演のアジアツアーを開催。17年ぶりとなる**台北公演では2万6千人を動員**したほか、単独初の**北京公演では日本人女性ソロアーティスト史上初の1万人以上を動員**

アジアツアー公演数

『ayumi hamasaki ASIA TOUR 2025 卍
I am ayu -ep. II-』

12都市**15**公演

うち海外公演:**5**都市**6**公演
(香港、シンガポール、台北、杭州、北京)

Weiboフォロワー数

309万人(26年3月末)

2025年
Weibo日本
年度ベストアーティスト賞 受賞

パートナーとの取り組みによる各アーティストについても、活動の幅が拡大

Snow Man



5枚目のフルアルバム
4作連続初週ミリオン達成

BLACKPINK



ワールドツアーの東京公演
東京ドームにて3日間公演実施

BE:FIRST



9枚目シングル「BE:FIRST ALL DAY」
“JAPAN Hot 100”で首位獲得

**NCT
WISH**



2026年1月に
1stミニアルバム「WISHLIST」リリース

EXILE



約4年5カ月ぶりのシングルリリース
約3年ぶりとなるドームツアー開催

超(最強)の(心)宝(庫)



2025年8月リリース「超最強」
TikTok25億回以上再生

主要パートナーとの取り組み:新レーベル「C&C STAGE」

STARTO ENTERTAINMENT所属の木村拓哉が、当社グループに新設されたプライベートレーベル「C&C STAGE(シーアンドシーステージ)」へレーベル移籍



C&C STAGE

C&C STAGE オフィシャルホームページ

<https://candcstage.com/>

C&C STAGE Official X

<https://x.com/candc.stage>



音楽カタログビジネスの新たな取り組み

音楽関連権利を活用したカタログビジネスは、収益最大化への取り組みが進む
足元では新たな権利の獲得のほか、権利の利活用を最大化するための共同事業がスタート



“Bruno Mars”と

音楽出版パートナーシップを開始

世界的アーティストのブルーノ・マーズとの
グローバル音楽出版パートナーシップを開始

今後制作する全ての楽曲を対象に、全世界における
独占的な音楽出版管理を担う



総額1億ドル(約150億円)規模の

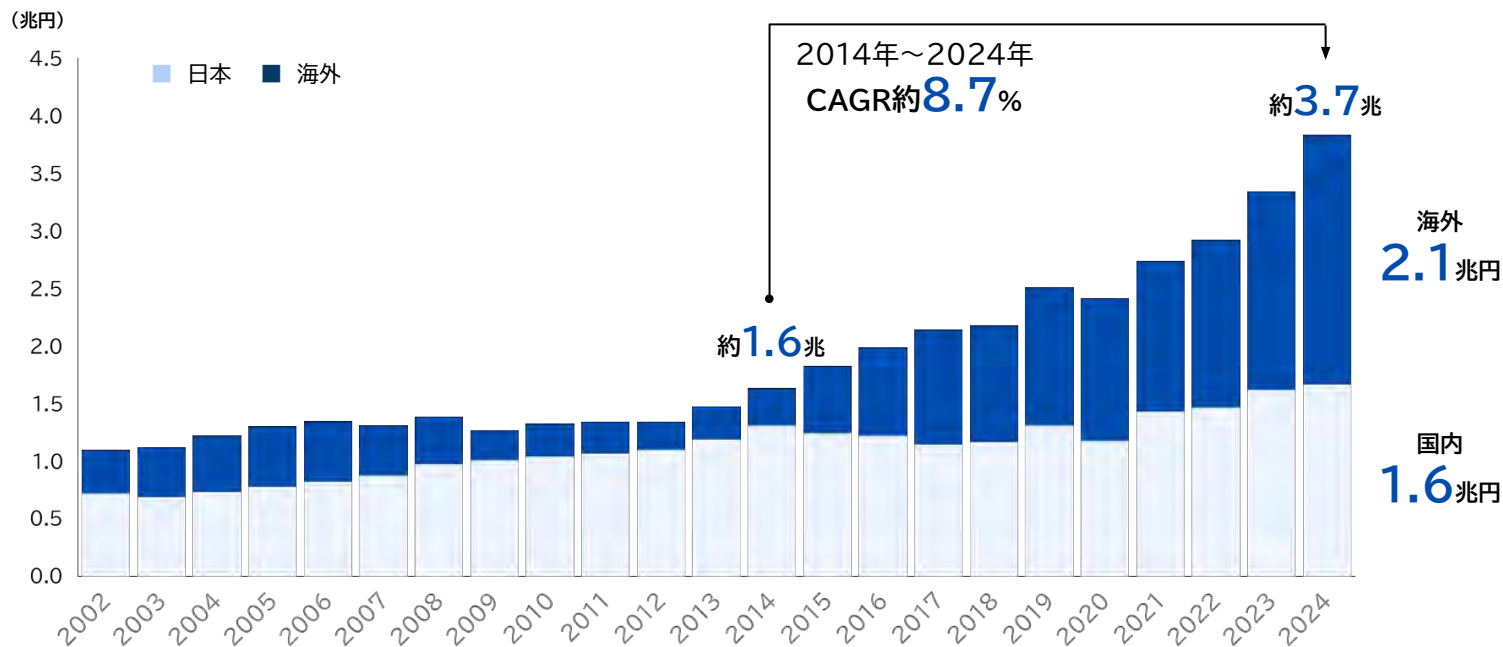
音楽カタログ投資プロジェクトを開始

音楽関連権利(音楽カタログ)ビジネスのさらなる拡充を目指し、
総額1億ドル規模のグローバル音楽カタログプロジェクトを開始

第一弾として、Teddy Swimsの“Lose Control”を含む
プロデューサー“infamous”の音楽カタログを獲得

海外配信市場の拡大が牽引し、アニメ市場は急激に拡大

日本と海外のアニメ市場対比(広義のアニメ市場)



アニメビジネスの拡大(1/2)

アニメ事業はグローバル領域を中心に成長
海外展開を前提とした作品選定・出資により、収益性の高いポートフォリオを構築



©裏那圭・嬰童秀吉・講談社/「ガチアクタ」製作委員会

2025年7月より世界同時配信・日本全国ネット放送を開始。
同年12月に放送・配信が完結しつつも、第2期の制作も決定！
TVシリーズグローバル規模の宣伝戦略に取り組み、
クランチロール視聴ランキング1位を獲得。Crunchyroll
Anime Awards 2026では全24部門中16部門でノミネート。



©白浜鷗/講談社/「とんがり帽子のアトリエ」製作委員会

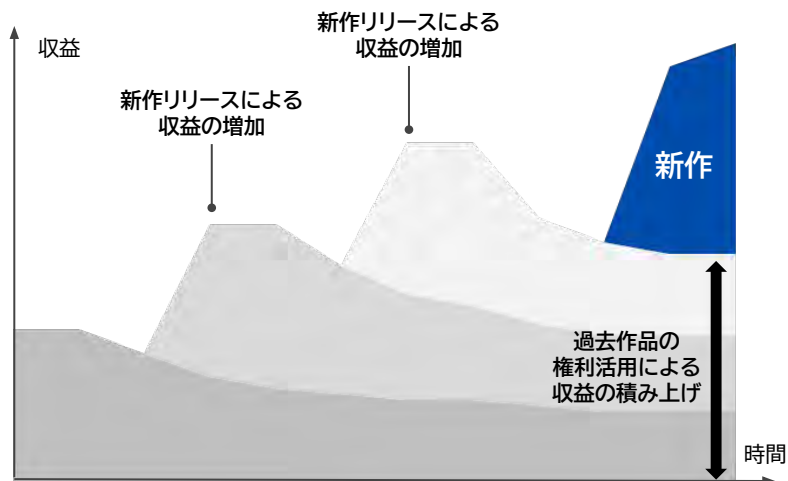
フランスやアメリカをはじめ、世界で数々の賞を受賞をしている、
世界的人気原作が、2026年4月より**TV放送・全世界一斉配信**
を開始。海外でのイベント出展や先行上映を実施。

アニメビジネスの拡大(2/2)

有力なIPをシリーズ化して連続的に提供することで持続的な成長サイクルを構築
新作の投入を機にカタログ作品の魅力再発信し、新旧作品の両輪で収益を最大化

収益の成長イメージ

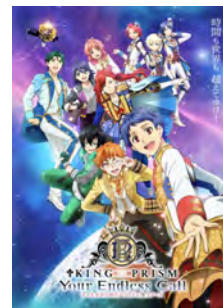
有力IPをシリーズ化し継続的な収益を獲得するとともに、
新作リリースに合わせて過去作品の魅力も発信。カタログとしての価値を最大化



主要IP



©T-ARTS/syn Sophia/
OAP PROJECT



©T-ARTS/syn Sophia/
エイベックス・ピクチャーズ/
タツノコプロ/KING OF PRISM Project



© 田島裕基/
集英社・テレビ東京・
ブラッククローバー製作委員会



©原泰久/集英社・キングダム製作委員会



新たなIPを創出するとともに、既存事業については選択と集中により4社の子会社を譲渡
 今後も継続して事業のあり方を見直し

事業再編の方針

マネジメント

レーベル

ライブ

アニメ・映像

上記4領域を注力領域と位置付け。

これら以外の事業については、内製化/外製化のあり方等も鑑み自社での継続を判断

2026年3月期における再編実績

対象会社	バーチャル・ エイバックス(株) <small>※現株VEXZ</small>	(株)aNCHOR	(株)fuzz	(株)LIVESTAR
事業内容	バーチャルIPの プロデュース及び運営	ゲームソフトウェアの 企画・制作・販売等	インターネットサービス及び デジタルコンテンツの 企画・制作・運営	ライブ配信者マネジメント 及びライブ配信代理店事業
株式譲渡 割合	81% (19%を継続保有)	100%	89% (当社保有全株式)	100%
譲渡日	25年10月	26年1月	26年1月	26年3月
相手先	同社取締役	大手事業会社	同社代表取締役	同社代表取締役

上記4社のほか、2事業を大手事業会社に譲渡

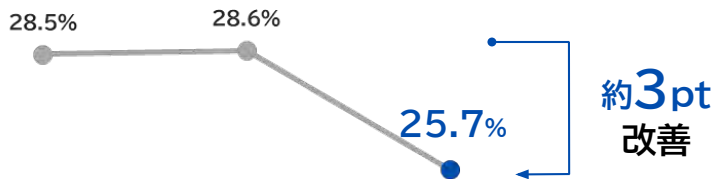
コスト見直しと生産性の向上

費用執行ルールの見直し、モニタリングの強化により、販管費水準を適正化
事業の選択と集中・IPの成長に伴い生産性も向上し、収益性が大幅に改善

販管費水準の適正化

費用執行ルールの見直し、モニタリングの強化により販管費水準を適正化。売上高販管費率が大幅に改善

● 売上高販管費率

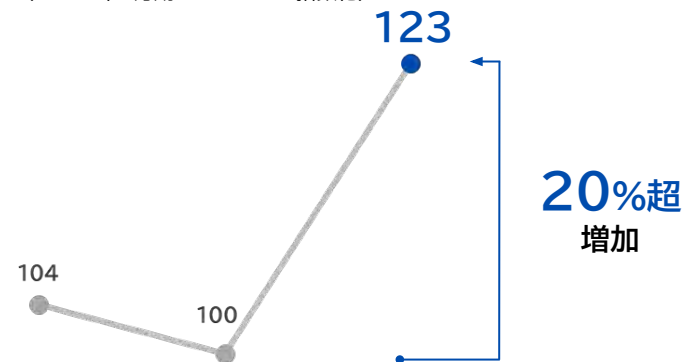


2024年3月期 2025年3月期 2026年3月期

収益性の改善

事業ポートフォリオの見直し・IPの成長に伴い従業員一人当たりの稼ぐ力が大幅に改善

● 一人当たり売上総利益
(2025年3月期=100として指数化)



2024年3月期 2025年3月期 2026年3月期

注：従業員数は各年度末時点で算出。臨時雇用人員を除く

今後も、経営リソースの最適化や、AI等も活用した業務効率化により、更なる収益性の向上を目指す

経営リソースの最適化

事業・IPの
選択と集中

各組織の役割
見直し・再編

業務の効率化

組織再編により生まれるリソースを、
成長領域・注力プロジェクトへ集中投下

人員の適正化
を推進

最適な経営ポートフォリオに転換

AI活用による業務効率化

グループ横断でAI活用プロジェクトを立ち上げ。まずは、バックオフィスを中心に効率化し、更なる生産性向上を目指す

進行プロジェクト数 **25以上** → 数年以内に
バックオフィス業務を **20%以上削減**
することを目指す

取り組み事例

社内問い合わせ
チャットボット

提案資料
翻訳

契約・法務
レビュー

市場/SNS
動向調査

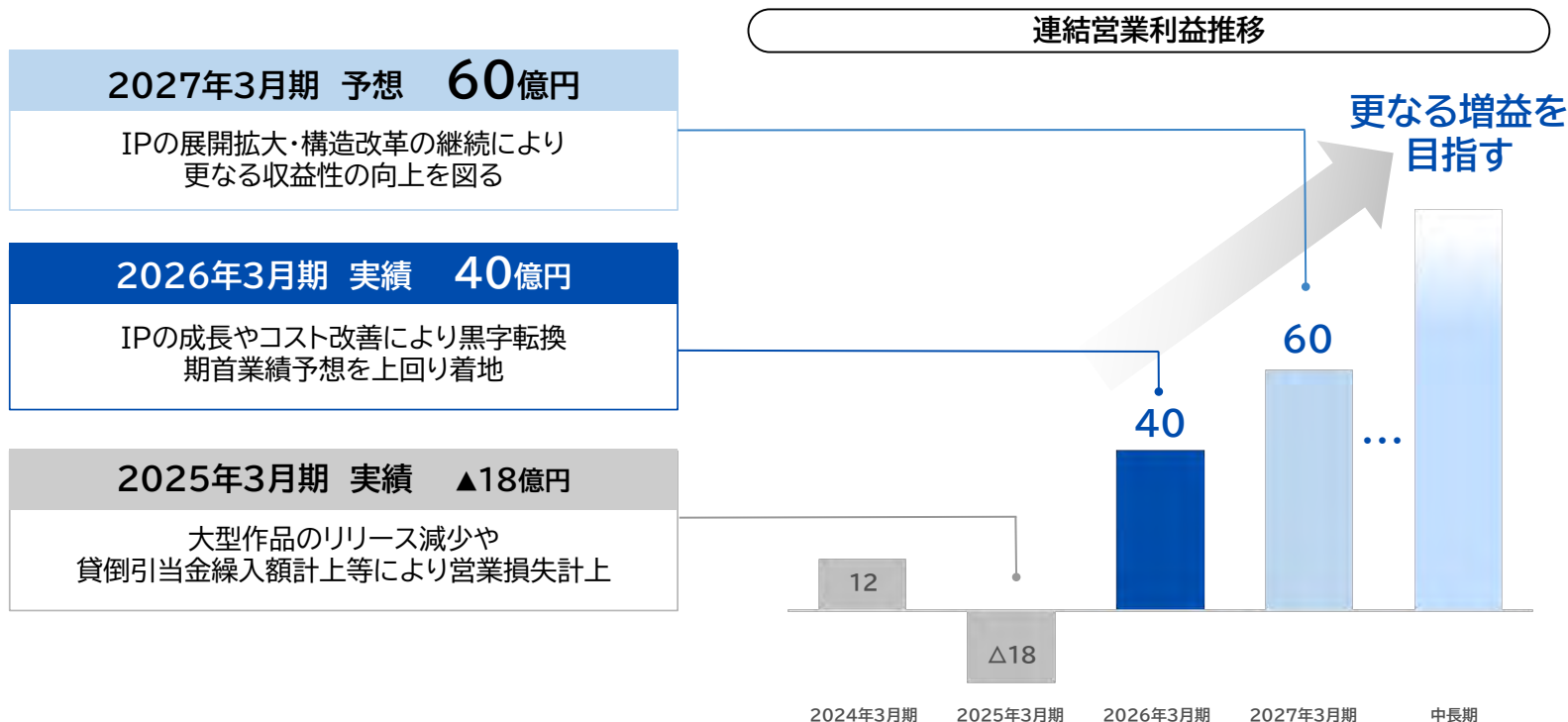
会議体
運営改善

歌詞・映像
倫理チェック

チケット販売
データ分析

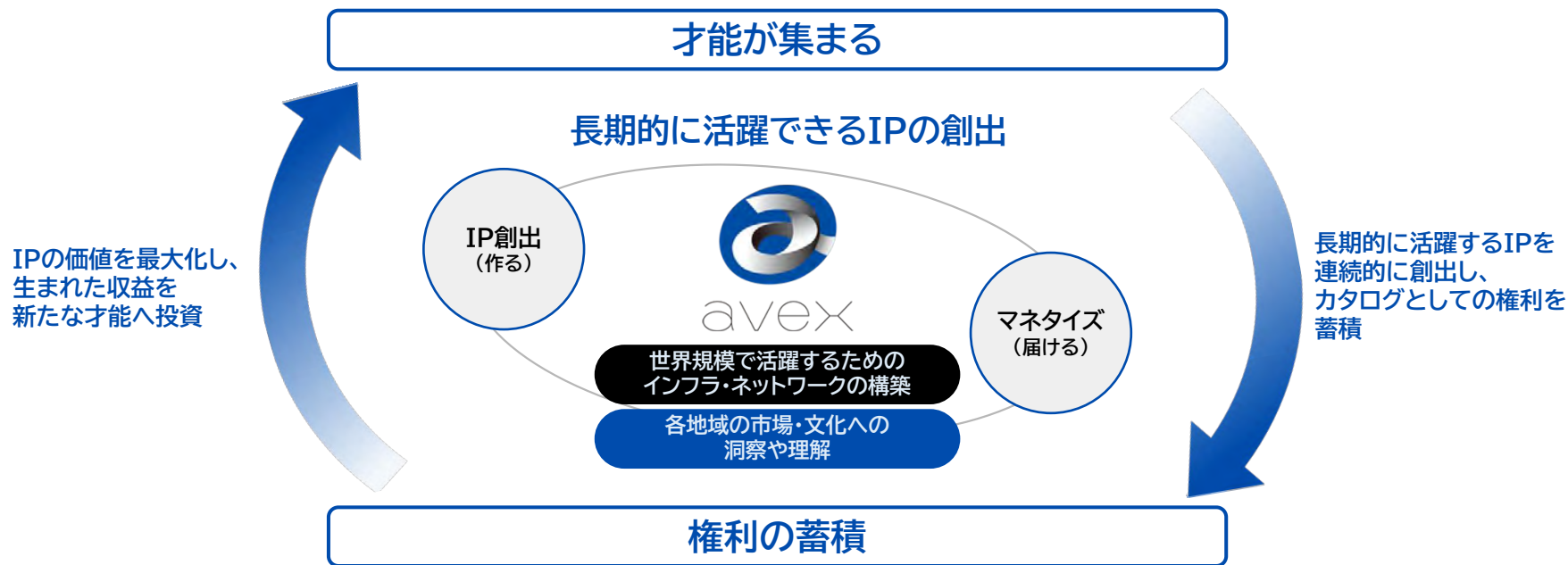
過去資料
ナレッジ化

現中期経営計画の最終年度となる2027年3月期以降も、将来の成長に向けた投資を継続し
 更なる業績拡大を目指す



エイベックスが目指す姿

グローバルを見据え、長期的に活躍するアーティスト・クリエイター・作品を創出する。
その活動の中で生まれた作品の権利を蓄積し、次世代のIPを生み出す循環を構築していく



Appendix.

2026年3月期ハイライト

主な
ニュース
リリース

5月27日	プレスリリース	日本人8人組ボーイズグループ・ONE OR EIGHT 米国大手レコード会社Atlantic Music Groupとグローバルメジャー契約を締結
8月18日	プレスリリース	「avex Youth studio TOKYO」が本格稼働
9月29日	IR	連結子会社の異動(株式譲渡)及び役員の異動に関するお知らせ
12月25日	IR	持分法適用関連会社の異動(株式譲渡)による特別利益の計上及び株式会社サンリオとの戦略的パートナーシップに向けた基本合意に関するお知らせ
12月25日	IR	業績予想の修正に関するお知らせ
26年1月9日	IR	統合報告書「INTEGRATED REPORT 2025」
26年2月5日	プレスリリース	エイバックス所属作家 Kamal Wilson、第68回グラミー賞「最優秀R&Bソング賞」受賞
26年3月5日	IR	完全子会社の吸収合併(簡易合併)に関するお知らせ
26年3月11日	プレスリリース	代表取締役社長CEOの黒岩 及びAvex Music Group LLC CEOのBrandon Silversteinが米ビルボード誌「Billboard' s 2026 Global Power Players」に選出
26年3月18日	プレスリリース	エイバックス、ブルーノ・マーズとグローバル音楽出版管理に関するパートナーシップを開始
26年3月27日	プレスリリース	藤本タツキの初期原作をアニメ化した「庭には二羽ワトリがいた。」がアヌシー国際アニメーション映画祭2026の「Midnight Short Film Competition」に選出・正式出品
26年3月30日	IR	特別目的会社(SPC)設立に関するお知らせ
26年3月30日	IR	米国連結子会社における財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結に関するお知らせ
26年4月27日	IR	業績予想の修正に関するお知らせ
26年4月27日	プレスリリース	コンプライアンスに関する取り組みについて
26年4月27日	プレスリリース	エイバックス、総額1億ドル規模のグローバル音楽カタログ取得プロジェクトを開始

2026年3月期コンテンツハイライト

音楽事業:ライブ

アーティスト	タイトル	期間
東方神起	東方神起 20th Anniversary LIVE TOUR ~ZONE~	1Q(24年11月~4月)
NCT 127	NCT 127 4TH TOUR 'NEO CITY : JAPAN - THE MOMENTUM'	1Q(3月~5月)
TREASURE	2025 TREASURE FAN CONCERT [SPECIAL MOMENT] IN JAPAN	1Q(4月~5月)
浜崎あゆみ	ayumi hamasaki ASIA TOUR 2025 ㊦ I am ayu -ep. II-	1Q~4Q(4月~26年1月)
G-DRAGON	G-DRAGON 2025 WORLD TOUR [Übermensch] IN JAPAN	1Q(5月)
XG	XG 1st WORLD TOUR "The first HOWL" FINAL Landing at TOKYO DOME	1Q(5月)
フェス	a-nation 2025	2Q(8月)
フェス	ULTRA JAPAN 2025	2Q(9月)
G-DRAGON	G-DRAGON 2025 WORLD TOUR [Übermensch] IN OSAKA : ENCORE	3Q(10月)
Da-iCE	Da-iCE ARENA TOUR 2025 -EntranCE-	3Q(10月~11月)
TREASURE	TREASURE TOUR [PULSE ON] IN JAPAN	3Q~4Q(10月~26年2月)
NCT DREAM	2025 NCT DREAM TOUR <THE DREAM SHOW 4 : DREAM THE FUTURE> in JAPAN	3Q~4Q(11月~26年1月)
SUPER JUNIOR	SUPER JUNIOR 20th Anniversary TOUR <SUPER SHOW 10> in JAPAN	3Q~4Q(12月~26年3月)
BLACKPINK	BLACKPINK 2025 WORLD TOUR IN TOKYO	4Q(26年1月)
Da-iCE	Da-iCE ARENA TOUR 2026 -TERMiNaL-	4Q~翌1Q(26年1月~4月)
XG	XG WORLD TOUR: THE CORE	4Q~翌1Q(26年2月~4月)



TREASURE



BLACKPINK



XG

アーティスト	タイトル	期間
Da-iCE	Da-iCE ARENA TOUR 2026 -TERMiNaL-	前4Q~1Q(1月~4月)
XG	XG WORLD TOUR: THE CORE	前4Q~1Q(2月~4月)
浜崎あゆみ	ayumi hamasaki JAPAN TOUR 2026 兎-Scapegoat-	1Q~3Q(4月~11月)
東方神起	東方神起 20th Anniversary LIVE IN NISSAN STADIUM ~RED OCEAN~	1Q(4月)
MAZZEL	MAZZEL 1st Arena Tour 2026 “Shall we hit the Banquet?”	1Q(4月~6月)
イベント	STAR ISLAND 2026	1Q(5月)
EXO	EXO PLANET #6 - EXhOrizon in JAPAN	1Q~2Q(5月~7月)
LUNA SEA	LUNA SEA TOUR 2026 UNENDING JOURNEY -FOREVER-	1Q~2Q(5月~10月)
XG	XG WORLD TOUR: THE CORE ASIA & Australia SHOWS	2Q~3Q(7月~10月)
TREASURE	TREASURE THE STAGE 2026 IN JAPAN	2Q(7月~9月)
フェス	ULTRA JAPAN 2026	2Q(9月)
フェス	a-nation 2026	3Q(10月)
Da-iCE	Da-iCE DAY DOME PHASE 2027	4Q(2月)



浜崎あゆみ



a-nation



Da-iCE

アーティスト	タイトル	形態	発売月
Kis-My-Ft2	MAGFACT	アルバム	1Q 5月
SHOW-WA & MATSURI	僕らの口笛	シングル	1Q 6月
Snow Man	Snow Man Dome Tour 2024 RAYS	DVD/Blu-ray	1Q 6月
Snow Man	SERIOUS	シングル	2Q 7月
BE:FIRST	BE:FIRST DOME TOUR 2024-2025 “2:BE”	DVD/Blu-ray	2Q 8月
東方神起	東方神起 20th Anniversary LIVE TOUR ~ZONE~	DVD/Blu-ray	2Q 8月
TREASURE	LOVE PULSE	アルバム	2Q 9月
SKE48	Karma	シングル	2Q 9月
BE:FIRST	BE:ST	アルバム	3Q 10月
Snow Man	音故知新	アルバム	3Q 11月
僕が見たかった青空	あれはフェアリー	シングル	3Q 12月
三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE	三代目 J SOUL BROTHERS 15TH ANNIVERSARY STADIUM LIVE “JSB FOREVER ~ONE~”	DVD/Blu-ray	3Q 12月
Kis-My-Ft2	&Joy	シングル	3Q 12月
NCT WISH	WISHLIST	アルバム	4Q 1月
Snow Man	Snow Man 1st Stadium Live Snow World ~日産スタジアム~	DVD/Blu-ray	4Q 1月
XG	THE CORE - 核	アルバム	4Q 1月
Kis-My-Ft2	Kis-My-Ft2 LIVE TOUR 2025 MAGFACT	DVD/Blu-ray	4Q 3月
SKE48	サンダルだけ	シングル	4Q 3月



Snow Man



SKE48

三代目 J SOUL BROTHERS
from EXILE TRIBE

アーティスト	タイトル	形態	発売月
STARGLOW	USOTSUKI	シングル	1Q 4月
TREASURE	2025-26 TREASURE TOUR [PULSE ON] SPECIAL in KYOCERA DOME OSAKA	DVD/Blu-ray	1Q 4月
NCT WISH	Ode to Love	アルバム	1Q 4月
Snow Man	BANG!! / SAVE YOUR HEART / オドロウゼ!	シングル	1Q 4月
BE:FIRST	BE:FIRST ALL DAY	シングル	1Q 5月
Da-iCE	Da-iCE ARENA TOUR 2025 -EntranCE-	DVD/Blu-ray	1Q 5月
超ときめき♡宣伝部	どリーむじゃんぼ!	シングル	1Q 5月
THE RAMPAGE from EXILE TRIBE	BLACK TOKYO	シングル	1Q 5月
TREASURE	TREASURE 4th MINI ALBUM [NEW WAV]	アルバム	1Q 6月
僕が見たかった青空	FUNKY SUMMER	シングル	1Q 6月
VIBY	Miracle : The First Light	シングル	1Q 6月
Girls2	Seven Blooms	アルバム	1Q 6月
Snow Man	Snow Man Dome Tour 2025-2026 ON	DVD/Blu-ray	2Q 7月
NCT WISH	YO-I-DON! / BOY MEETS GIRL	シングル	2Q 7月
三代目 J SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE	三代目 J SOUL BROTHERS 15TH ANNIVERSARY STADIUM LIVE "JSB FOREVER -ONE-"	DVD/Blu-ray	2Q 8月



VIBY



超ときめき♡宣伝部



STARGLOW

2026年3月期コンテンツハイライト

アニメ・映像事業

ジャンル	フォーマット	タイトル	公開/開催
アニメ	ライブ	ひみつのアイプリ×プリパラ プリ♡プリライブ	1Q 4月
実写	映画	SEVENTEEN [RIGHT HERE] WORLD TOUR IN CINEMAS	1Q 5月
アニメ	ライブ	Paradox Live Dope Space	1Q 6月
アニメ	映画	劇場版「KING OF PRISM Your Endless Call み～んなきらめけ！プリズム☆ツアーズ」	1Q 6月
アニメ	TVシリーズ	TVアニメ「追放者食堂へようこそ！」	2Q 7月
アニメ	TVシリーズ	TVアニメ『ガチアクタ』	2Q 7月
アニメ	TVシリーズ	TVアニメ「おそ松さん」第4期	2Q 7月
アニメ	ライブ	ひみつのアイプリ×ワッチャプリマジ！ プリ♡プリライブ	2Q 7月
実写	TVシリーズ	Dating Game～口説いてもいいですか、ボス!？～	2Q 7月
アニメ	TVシリーズ	TVアニメ「キングダム」第6シリーズ	3Q 10月
アニメ	TVシリーズ	TVアニメ「嘆きの亡霊は引退したい」	3Q 10月
アニメ	映画	劇場版『ゾンビランドサガ ゆめぎんがパラダイス』	3Q 10月
アニメ	配信アニメ	藤本タツキ 17-26	3Q 11月
アニメ	TVシリーズ	TVアニメ『MFゴースト 3rd Season』	4Q 1月
実写	舞台	舞台「KING OF PRISM-Your Endless Call-み～んなきらめけ！キンプリ☆ツアーズ」	4Q 2月
実写	映画	スペシャルズ	4Q 3月



© 廣那圭・晏童秀吉・講談社/「ガチアクタ」制作委員会
ガチアクタ



© 藤本タツキ/集英社・「藤本タツキ 17-26」制作委員会
藤本タツキ 17-26



© 2026「スペシャルズ」フィルムパートナーズ
スペシャルズ © avex

ジャンル	フォーマット	タイトル	公開/開催
アニメ	ライブ	ゾンビランドサガ LIVE～フランシュシュゆめぎんがフェスティバル～	1Q 4月
アニメ	TVシリーズ	おねがいアイプリ	1Q 4月
アニメ	配信アニメ	とんがり帽子のアトリエ	1Q 4月
実写	ライブビューイング	BTS WORLD TOUR 'ARIRANG' in GOYANG	1Q 4月
実写	ライブビューイング	BTS WORLD TOUR 'ARIRANG' in TOKYO	1Q 4月
実写	映画	映画『SAKAMOTO DAYS』	1Q 4月
アニメ	ライブ	Paradox Live Dope Show 2026	1Q 5月
実写	映画	映画『おそ松さん 人類クズ化計画!!!!?』	1Q 6月
実写	ライブビューイング	BTS WORLD TOUR 'ARIRANG' IN BUSAN	1Q 6月
アニメ	TVシリーズ	TVアニメ『ぐらんぶる』 Season 3	2Q 7月
アニメ	TVシリーズ	TVアニメ『炎の闘球女 ドッジ弾子』	2Q 7月
実写	映画	mentor	3Q 10月
実写	映画	RYUJI 竜二	3Q 10月



© 白浜鶴 / 講談社 / 「とんがり帽子のアトリエ」製作委員会
とんがり帽子のアトリエ



© 鈴木祐斗 / 集英社 © 2026映画『SAKAMOTO DAYS』製作委員会
映画『SAKAMOTO DAYS』



© 映画『おそ松さん』製作委員会2026
映画『おそ松さん 人類クズ化計画!!!!?』

連結損益計算書

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	増減率
売上高	131,691	146,571	+14,879	+11.3%
売上原価	95,852	104,791	+8,938	
売上総利益	35,839	41,779	+5,940	+16.6%
売上総利益率	27.2%	28.5%	+1.3pt	
人件費	12,659	12,868	+208	
販促宣伝費	7,913	8,654	+740	
一般経費	17,085	16,171	△913	
販管費合計	37,658	37,694	+36	
営業利益	△1,819	4,085	+5,904	—
営業利益率	—	2.8%	—	
営業外収益	442	674	+231	
営業外費用	327	426	+99	
経常利益	△1,703	4,333	+6,037	—
特別利益	6,486	1,220	△5,266	
特別損失	1,020	626	△394	
税金等調整前当期純利益	3,762	4,927	+1,165	+31.0%
法人税等	2,420	951	△1,468	
非支配損益	203	422	+218	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,138	3,553	+2,414	+212.1%

連結貸借対照表及び連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表

(百万円)	2025年3月末	2026年3月末
資産の部		
流動資産	77,774	81,755
現金・預金	35,690	34,305
売掛金等	22,952	25,678
棚卸資産	4,910	5,811
その他	14,221	15,960
固定資産	28,186	29,038
有形・無形固定資産	11,161	14,542
投資有価証券	9,839	6,977
その他	7,185	7,518
資産合計	105,960	110,793
負債の部		
流動負債	52,834	56,198
買掛金等	2,972	2,778
未払金	29,511	30,299
未払法人税等	2,105	554
返金負債	1,323	1,163
その他	16,921	21,402
固定負債	2,013	1,705
負債合計	54,848	57,904
純資産の部		
純資産合計	51,112	52,889
負債及び純資産合計	105,960	110,793

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期
キャッシュ・フロー計算書		
営業活動によるCF	△4,675	2,076
投資活動によるCF	928	△665
財務活動によるCF	△4,111	△2,906
連結キャッシュ・フロー	△7,858	△1,496
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	74
現金及び現金同等物の増減額	△7,803	△1,422
現金及び現金同等物の期首残高	46,933	35,690
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	△3,439	36
現金及び現金同等物の期末残高	35,690	34,305
フリー・キャッシュ・フロー	△3,747	1,410

音楽事業セグメント業績

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	増減率
売上高	114,574	122,312	+7,737	+6.8%
ライブ	45,571	53,482	+7,910	
マーチャндаイジング	7,465	8,238	+772	
マネジメント	11,292	12,102	+810	
音楽パッケージ	21,445	19,741	△1,704	
音楽配信	13,909	15,644	+1,735	
音楽出版	3,214	3,262	+48	
E-コマース	16,535	17,834	+1,298	
その他	8,172	8,792	+620	
売上原価	83,829	87,903	+4,074	
売上総利益	30,744	34,408	+3,663	+11.9%
売上総利益率	26.8%	28.1%	+1.3pt	
人件費	7,532	7,474	△58	
販促宣伝費	6,703	6,999	+295	
一般経費	9,029	7,847	△1,181	
GMF(グループ運営負担金)	8,659	8,618	△40	
販管費合計	31,924	30,939	△984	
営業利益	△1,180	3,468	+4,648	—
営業利益率	—	2.8%	—	

注1: 2026年3月期より売上高のサブセグメントを変更しており、従来の「ファンクラブ」サブセグメントは「マネジメント」サブセグメントに含めて遡及開示している

注2: 各サブセグメント売上高はサブセグメント内取引を未消去

注3: 2026年3月期よりGMF(グループ運営負担金)の配賦方法及び金額を見直している

アニメ・映像事業セグメント業績

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	増減率
売上高	18,492	21,723	+3,230	+17.5%
アニメ	13,508	17,138	+3,630	
実写映像	4,724	4,377	△347	
その他	260	208	△52	
売上原価	13,945	15,937	+1,992	
売上総利益	4,547	5,785	+1,237	+27.2%
売上総利益率	24.6%	26.6%	+2.0pt	
人件費	1,335	1,366	+31	
販促宣伝費	1,296	1,544	+247	
一般経費	768	938	+170	
GMF(グループ運営負担金)	847	873	+26	
販管費合計	4,248	4,723	+474	
営業利益	299	1,062	+762	+254.8%
営業利益率	1.6%	4.9%	+3.3pt	

注1: 2026年3月期より売上高のサブセグメントを変更している

注2: 各サブセグメント売上高はサブセグメント内取引を未消去

注3: 2026年3月期よりGMF(グループ運営負担金)の配賦方法及び金額を見直している

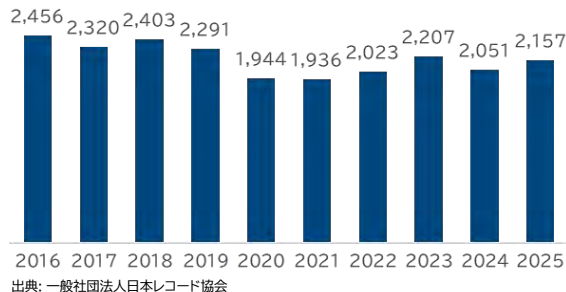
その他事業セグメント業績

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	増減率
売上高	4,109	4,726	+616	+15.0%
売上原価	2,720	2,669	△50	
売上総利益	1,389	2,056	+666	+48.0%
売上総利益率	33.8%	43.5%	+9.7pt	
人件費	1,251	1,136	△114	
販促宣伝費	39	101	+61	
一般経費	943	1,048	+104	
GMF(グループ運営負担金)	94	210	+115	
販管費合計	2,329	2,496	+167	
営業利益	△939	△439	+499	—
営業利益率	—	—	—	

注: 2026年3月期よりGMF(グループ運営負担金)の配賦方法及び金額を見直している

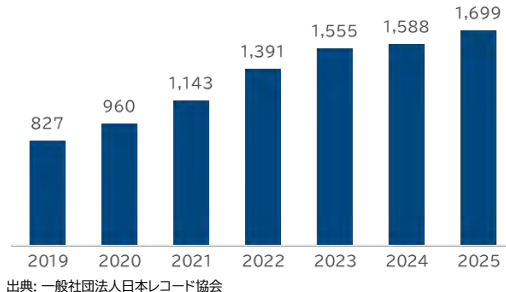
(億円)

■ 音楽パッケージ市場推移



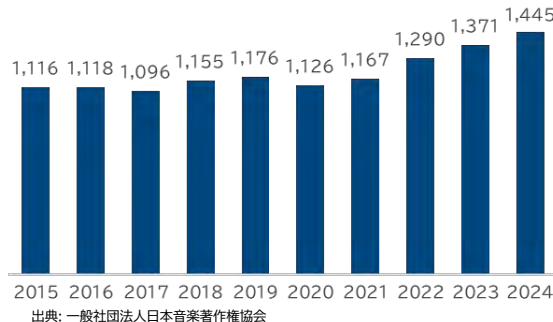
前年比5.2%増と1年ぶりに成長

■ 有料音楽配信市場推移



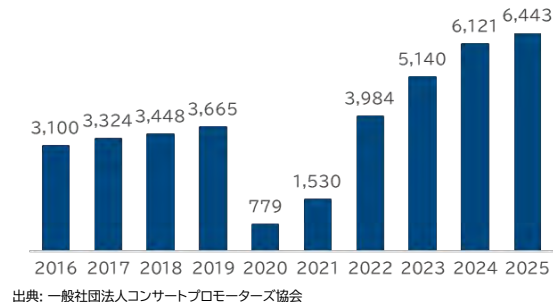
ストリーミング市場が牽引し前年比7.0%増

■ JASRAC著作権使用料徴収額推移



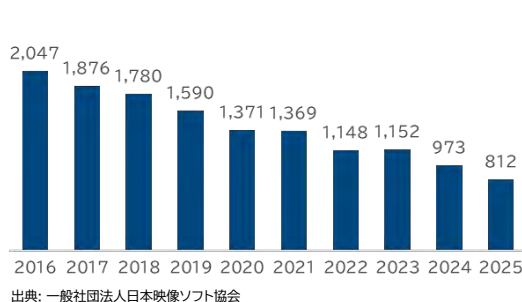
前年比5.4%増と配信サービスやライブ市場の拡大に伴い過去最高

■ ライブ市場推移



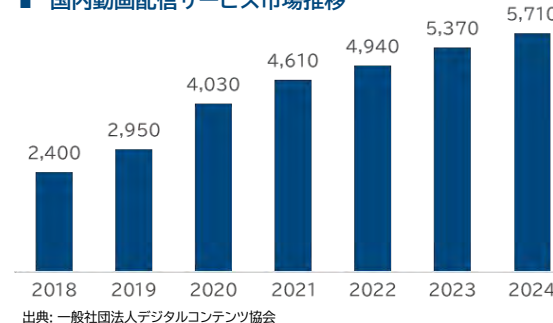
前年比5.3%増と継続して成長

■ 映像ソフト市場推移



前年比16.5%減と2年連続で減少

■ 国内動画配信サービス市場推移



前年比6.3%増と引き続き成長

免責事項

本資料に記載されている将来に関する内容は、当社グループが資料作成時点において入手可能な情報に基づいたものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。

特に当社グループの事業領域は、一般的な経済状況以外にも業績に影響を与えうる要因が数多く存在しているため、実際の業績等は、様々な要因により将来の見通しと異なる場合があることをあらかじめご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

エイバックス株式会社
経営管理本部 経営管理グループ

<https://avex.com/jp/ja/contact/ir/>

